

2024年10月31日

各位

株式会社三井住友銀行

NEC キャピタルソリューション株式会社に「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、NEC キャピタルソリューション株式会社（代表取締役社長：菅沼 正明）に対し、「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回のNEC キャピタルソリューション株式会社に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「従業員への配慮」、「サステナビリティマネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。

企業経営において大変優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGsへの貢献意欲が高いとの判断となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が進んでいるとされました。

- ① 2040年度に向けたカーボンニュートラル目標や、リース満了品のリサイクル促進等に向けた数値目標を設定し、事業活動に伴う環境負荷低減の取り組みを推進。また、Scope3算定の検証範囲を拡大するなど、サプライチェーンを含めた環境負荷の計測を着実に進めておられる点。
- ② 多様な働き方や多様な人材の活躍を推進し、障がい者の就業機会を創出。また、エンゲージメント調査を定期的に行い、目標設定と目標達成のための改善アクションの検討・実施につなげている。事業面では、PFIやヘルスケアREITのウェアハウジング事業など、地域コミュニティの社会的課題解決に向けて多様な取り組みを展開しておられる点。
- ③ 中期計画2025で非財務目標を設定し、中長期的な企業価値向上に資するサステナビリティの取り組みを定量的にコミットしている。業務執行取締役の業績連動報酬の評価要素として、環境・社会課題への対応や従業員エンゲージメントスコアを新たに追加し、その評価割合についても開示しておられる点。

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標 7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「目標 11: 住み続けられるまちづくりを」「目標 13: 気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

株式会社三井住友銀行では、「ESG/SDGs 推進分析融資」により、お客さまのESG/SDGs への取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上